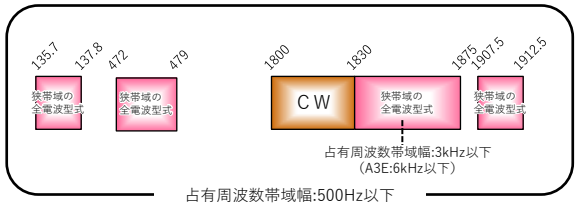
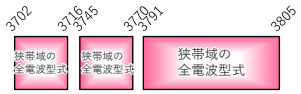
アマチュア業務に使用する電波の型式及び周波数の使用区別（令和５年３月22日総務省告示第80号）

135kHz帯・475kHz帯・1.9MHz帯［単位:kHz］

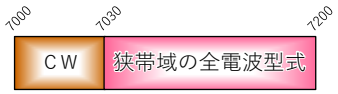


3.5MHz帯［単位:kHz］

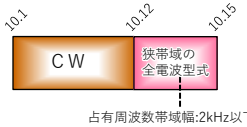
3.8MHz帯［単位:kHz］



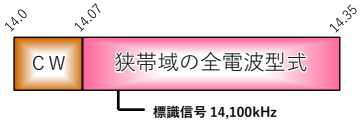
7MHz帯［単位:kHz］



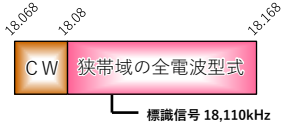
10MHz帯［単位:MHz］



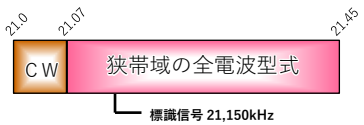
14MHz帯［単位:MHz］



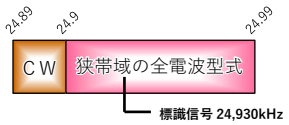
18MHz帯［単位:MHz］



21MHz帯［単位:MHz］

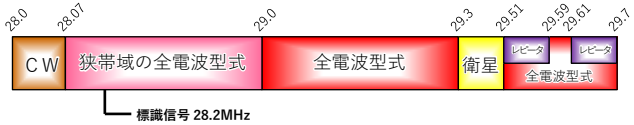


24MHz帯［単位:MHz］

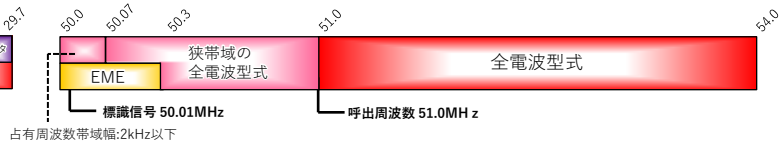


占有周波数帯域幅:3kHz以下（A3E:6kHz以下）

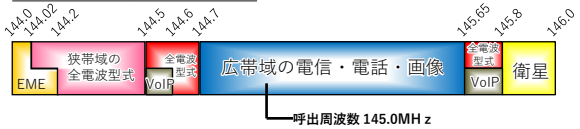
28MHz帯［単位:MHz］



50MHz帯［単位:MHz］

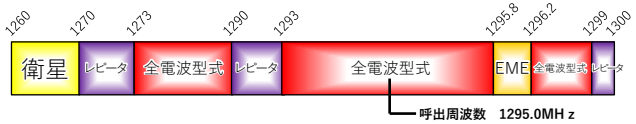


144MHz帯［単位:MHz］

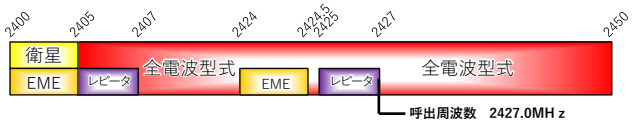


430MHz帯［単位:MHz］

1200MHz帯［単位:MHz］

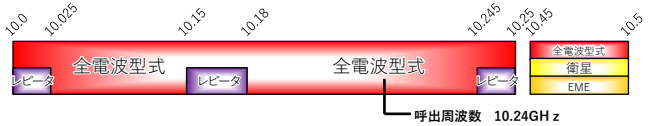


2400MHz帯［単位:MHz］



5600MHz帯［単位:MHz］

10.1GHz・10.4GHz帯［単位:GHz］



使用区別の見方

全電波型式	・全ての電波の型式
CW	・モールス符号により搬送波を断続して行う通信
狭帯域の全電波型式	・占有周波数帯域幅が3kHz以下の通信（A3Eにあっては占有周波数帯域幅が6kHz以下） ・モールス符号により搬送波を断続して行う通信（CW） ・SSB、AM等の振幅変調方式の送信機を使った電話通信 ・AMモードでマイクロホン端子に電鍵などで断続した可聴周波数のモールス符号を入力して行う通信 ・SSBモードによるSSTV・FAX等の通信 ・FT4・FT8・RTTY・PSK31等のデータ伝送
広帯域の電信・電話・画像	・占有周波数帯域幅が3kHzを超える通信 ・FM、D-STAR(DV)モード等による電話通信 ・FMモードでマイクロホン端子に電鍵などで断続した可聴周波数のモールス符号を入力して行う通信 ・FMモードによるSSTVやFAX等の通信 ・VoIP、RTTY及びデータ伝送を除く
VoIP	・音声を圧縮してパケットに変換した上で、インターネット接続網を介した通信 （エコーリンク、WIRES、D-STARアクセスポイントモード等）
衛星	・人工衛星を利用して行う通信
EME	・月面反射通信
レピータ	・中継局を介して行う通信 ・SHF帯のデータ通信において、中継局間を結ぶ通信（アシスト局）
呼出周波数	・F2A又はF3Eにより連絡設定を行う通信
標識信号	・A1Aにより標識信号を送信するもの（ビーコン局）

（最終改正　令和７年７月17日総務省告示第259号）